

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第16週	第15週	第16週		第15週		第16週		第15週		第16週		第15週		第16週		第15週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	513	483	66	89	54	50	45	38	39	20	9	41	3	24	12	10	12	6
咽頭結膜熱	14	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	134	115	9	0	7	0	8	0	6	0	0	0	0	0	1	0	1	0
感染性胃腸炎	159	101	44	13	31	11	37	2	30	1	0	9	0	9	7	2	1	1
水痘	14	16	2	0	1	3	2	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0
手足口病	6	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	8	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
突発性発疹	32	24	6	0	5	0	6	0	3	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ヘルパンギーナ	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	10	10	2	3	1	9	0	0	0	0	2	3	1	5	0	0	0	4
RSウイルス感染症	50	51	16	3	15	2	12	3	8	2	0	0	0	0	4	0	7	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	23	12	0	5	0	2	0	5	0	2	/	0	/	0	/	0	/	0

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

〈インフルエンザの小流行・RSウイルス感染症の流行が続いています〉

どちらのウイルスも咳・くしゃみ等による飛沫感染とウイルスが付着した手指や物品を介しての接触感染が感染経路です。飛沫感染対策としてマスク着用や咳エチケット、接触感染対策として手洗いや手指衛生といった基本的な対策を徹底することが必要です。

〈感染性胃腸炎の報告が増えています〉

感染性胃腸炎とは、食品や飲料水をとおし経口的に細菌、ウイルス、寄生虫などの病原体が腸に感染してさまざまな消化器症状を引き起こす病気です。

よく知られているノロウイルスは感染性が強く、患者の便や吐物、ウイルスに汚染された食品を介して感染が拡大していきます。感染を広げないためにはオムツの適切な処理、手洗いの徹底が必要です。アルコールなどの消毒液ではあまり効き目がありません。衣類が便や吐物で汚れたときは、次亜塩素酸ナトリウム（家庭用塩素系漂白剤）でつけおき消毒した後、他の衣類と分けて洗濯しましょう。

沖縄県で麻しんの発生報告が増えています！！

H30.3.20に沖縄内県を旅行中の台湾からの旅行客が麻しんと診断されました。その後、那覇市を中心に麻しんの報告が続いています。また、H30.4.19に仙台国際空港で台湾在住の客室乗務員1名、H30.4.20に名古屋市内で1名が麻しんと診断されたと報告がありました。

麻しんとは

- 麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
- 麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染でヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。
- 平成27年3月27日、世界保健機関関西太平洋地域事務局より、日本が麻しんの排除状態にあることが認定されましたが、その後も海外からの輸入例を発端として、集団発生事例が起こっています。

症状

- 感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪の様な症状が現れます。
- 2~3日熱が続いた後39度以上の高熱と発疹が出現します。
- 肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。

感染を予防するには

感染力が強く、空気感染もするため手洗い、マスクのみでは予防できません。麻しんの予防接種が最も有効な予防法です。定期予防接種の対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している成人も、麻しんの罹患歴や予防接種歴が明らかでない場合は予防接種を検討してください。

詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html

この情報に関するお問い合わせ先：県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム
TEL:0248-75-7818 E-mail:kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp

